

事業概要：四日市バスターミナルを核とした次世代型中心市街地活性化事業

申請者	三重県四日市市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,004,374千円 (326,020千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野（大項目）	地場産業関連事業
目的・効果	<p>・国直轄のバスターミナル事業や本市の中心市街地の再編プロジェクト等の公共整備に連動し、ホテルやマンション、企業オフィスなどの民間投資が加速している。四日市バスターミナルへの情報発信・物販拠点を整備することで魅力発信機能を強化するとともに、民間が所有している四日市地下駐車場を取得し、高付加価値化することで駅・バスと直結したまちなか駐車場のマルチモーダルシフト機能を構築し、更なる回遊性を高めることで、賑わいの創出や都市の魅力向上を図り、更なる民間投資を目指す。</p>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	<p>【事業概要】 地方創生に資するスーパー・メガリージョンの西の核として、四日市バスターミナル内に新たな情報発信・物販拠点を整備するとともに、地下駐車場を市が取得し、次世代型駐車場へと最先端の高付加価値機能を備えて刷新する。これにより、自動運転バスやパーソナルモビリティ等の次世代交通の接続拠点を構築し、地上部と地下部の機能分担を明確化する。中央通りをはじめとしたまちなかの活性化イベントや、地域特産品に加え、市内の観光・文化資源の魅力も効果的に発信し、公園や商店街を結ぶモビリティネットワーク整備によって回遊性を高める。こうした取り組みで観光振興や賑わい創出を図りながら、都市の魅力向上とさらなる民間投資の促進を目指す。</p> <p>【ソフト事業】 ・まちなか回遊性確保のためのグリーンスローモビリティ自動運転レベル4実証事業 (委託料) 94,500千円</p> <p>【拠点整備事業】 ・①四日市バスターミナル内 四日市市新情報発信・物販拠点整備事業 基本設計費（委託料）2,920千円 ②次世代駐車場 地方創生高付加価値化事業 ・地上部へのエレベータ設置工事費 228,600千円</p>					<p>安全な基盤が、賑わいと交流の未来を拓く</p>	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①四日市1人あたり観光消費額（+2,926円） ②中心市街地における地価平均額（1㎡あたり）（+20,125円） ③中心市街地の人口増減数（+0人） ④中心市街地における歩行者数（+（休日）8,484人） ⑤商店街の空き店舗率（-0.21%） ⑥駐車場利用者数（+253,332人）</p>					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.yokkaichi.lg.jp/www/content/1764551775795/index.html